

Umbrella Roamingクライアントでのシステムおよびリソースの使用について

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[メモリ\(RAM\)およびCPU \(プロセッサ\)](#)

[Windows](#)

[MacOS](#)

[ストレージ \(ハードドライブの容量\)](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Umbrella Roaming Clientのシステムおよびリソースの使用について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaローミングクライアントに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

Cisco Umbrellaローミングクライアントは、WindowsとMac OS Xの両方で、システムリソースに関してコンピュータ上に実質的に存在しないフットプリントを持ちます。これは、UmbrellaローミングクライアントがDNSをまったくキャッシュせず、時間の経過とともにサイズやフットプリントが拡大しないためです。DNSは設計上、ほとんどリソースを使用しません。これは、UmbrellaローミングクライアントとUmbrellaサービスにも当てはまります。計算能力の大部分は

、ローカルマシンではなく、Umbrellaのクラウド内に保持されます。

Umbrellaローミングクライアントは、1分間に数百または数千のDNSルックアップを実行する場合でも、この記事で説明した範囲を超えて変動することはありません。Umbrellaローミングクライアントのリソース使用率がこのパラメータの一般的なアウトラインを超えており、問題を引き起こしている場合は、[Cisco Umbrellaサポート](#)にお問い合わせください。

メモリ(RAM)およびCPU (プロセッサ)

Umbrellaローミングクライアントのメモリフットプリントは、macOSおよびWindowsでは常に約30 MBです。

Windows

ERCInterface.exe *32	zack	02	9,832 K	Umbrella RC UI
ERCSERVICE.exe *32	SYSTEM	00	12,668 K	Umbrella RC Service
dnscrypt-proxy.exe *32	SYSTEM	00	1,104 K	dnscrypt-proxy

MacOS

dnscrypt-proxy	1.1 MB	0 bytes	1	19	91138	nobody
dns-updater	30.2 MB	0 bytes	9	132	90932	root

ストレージ (ハードドライブの容量)

ストレージフットプリントは、WindowsとMac OS Xの両方で約7 MBのディスク領域です。任意の時点で最大10 MBのログが保存される可能性があります。

Type:	File folder	Type:	File folder
Location:	C:\ProgramData\OpenDNS	Location:	C:\Program Files (x86)\OpenDNS
Size:	2.50 MB (2,628,237 bytes)	Size:	4.26 MB (4,470,024 bytes)
Size on disk:	2.54 MB (2,666,496 bytes)	Size on disk:	4.29 MB (4,501,504 bytes)
Contains:	13 Files, 4 Folders	Contains:	18 Files, 0 Folders

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。